

「よい子 強い子 伊丹の子」  
**伊丹っ子**



学校だより No. 9  
令和 6年 9月 9日  
伊丹市立伊丹小学校  
校長 奥村 智香子

新しい時代を生きる 徳・知・体の調和のとれた心豊かなたくましい子の育成

★令和6年度全国学力・学習状況調査結果速報★

本校は、「伝え広げ深め合う 協働的に学ぶ子どもたちの育成～児童の学びを見極め、授業に生かす実践を通して～」の研究テーマで授業研究を行っています。子どもたちには、自分の考えを持ち、自信を持って表現できるようになってほしい。仲間と話し合ったり、協力してまとめたり、つくったり、表現したりして、協働することのよさを感じてほしいと考えています。小学校で培ったこれらの力が、この先の社会を生き抜く力になるように職員一同、授業力の向上に努めてまいります。

さて、令和6年4月18日(木)に6年生対象に行われた「全国学力・学習状況調査」(下記の1参照)について本校の結果等をお知らせします。なおこの調査で測定できるのは学力の特定の一部であり学校における教育活動の一つの側面です。

1 児童に対する調査

(1) 学力に関する調査〔国語・算数〕それぞれ45分※下記①と②を一体的に問う

① 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等にかかわる内容

(2) 学習状況に関する調査〔児童質問紙〕

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

今年度は、19日にタブレット端末を用いたオンラインによる回答方式で行われました。

2 学力に関する調査結果について

本校の結果は国語・算数ともに全国及び県の平均を有意に上回る結果でした。

また、無回答率(何も書かない)が2教科とも低く、あきらめずに最後まで問題に取り組めたことがわかりました。

これまで意識して取り組んできた【書く力】を重視した授業づくり等の取り組みは、各教科の記述式解答率の高さに表れていました。今後も文章の趣旨を正しく読み取り、条件に応じて表現する力を高めていくように努めてまいります。

また、自分の考えが伝わるように工夫して書いたり目的や意図に応じて伝え合ったりする活動にも引き続き取り組んでまいります。

一方、少数ではありますが、きめ細やかな指導が必要な状況も見られます。ご家庭と連携して一人も取りこぼさない学力の定着を目指します。

3 学習状況に関する調査結果について(◎は全国や県より有意に高い、▼は有意に低い項目)

児童質問紙のうち主な結果をお知らせします。課題意識をもって取り組んできた自尊感情に係る「自分にはよいところがある」や「将来の夢や目標を持っている」が大きく向上しています。引き続き学校、家庭、地域での連携した取り組みにご協力をお願いいたします。

<生活面>

◎自分にはよいところがある	87.1%
・学校に行くのは楽しいと思う	85.9%
◎将来の夢や目標をもっている	84.3%
・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う	97.2%

<昨年度比較>

・84.5%
・86.9%
・74.3%
・97.2%



<生活面つづき>		<昨年度比較>
▼困りごとや不安を先生や学校にいる大人にいつでも相談できる	58.5%	・63.4%
◎先生はよいところをほめてくれる	93.3%	・88.0%
・自分と違う意見について考えるのは楽しい	74.2%	・70.2%
・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	84.8%	・64.0%

<学習面でのPC・タブレット等のICT機器の活用>	
・5年生までの授業で、どの程度使ったか	ほぼ毎日27.5%
▼学習の中でPC・タブレット等のICT機器を活用して自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができる	71.4%

<5年生までの授業について>	
◎課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたか	86.5%
◎各教科で学んだことを生かしながら自分の考えをまとめる活動をしていたか	83.2%
<学習について>	
◎話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり新たな考え方に気づいたりする	88.2%
◎学習した内容を見直し、次の学習につなげることができる	82.6%
◎友達やまわりの人の考えを大切にして、協力しながら課題解決に取り組んでいる	95.5%

これまでの授業の中で、自分の考えをまとめたり、話し合ったりしてきたこと、友達と協力しながら学びを深めていることなど、学習についての項目のほとんどで、全国や県より有意に高い評価となっています。これからも、子どもたちが安心して学べる環境づくりと楽しみながら力をつけることができる学習指導に取り組んでまいります。

一方、「困りごとや不安を先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」の項目が、昨年度より低く、全国や県よりも低くなりました。楽しいときだけでなく、困ったときや不安なときにも頼れる先生、安心して自分が出せる学級・学校にできるよう、子どもたちとの良好な関係づくりに努めるとともに、多くの目で子どもたちを見守り、共有してまいります。

また、タブレットを使って自分の考えや意見を伝えることも、全国や県より低い結果となりました。自分で考えたり話し合ったりできる子どもたちですので、タブレットや資料、動画など、伝えたいことを効果的に表現する様々な方法を身につけられるよう、表現の機会を設けてまいります。

1年生の時から学校と家庭とで協力して積み上げてきた学力・生活の成果と課題を共有し、生かすことで、未来を生きる子どもたちの幸せの実現を目指していきたいと考えています。そのためには、学校と家庭と地域の大人たちが笑顔で連携したり、前向きに行動しようとしたりする姿を子どもたちに示すことが大切です。児童の学習環境や生活の諸側面等と学力には、相関関係がみられます。子どもたちが、前向きに周囲のひと・もの・こととつながり、未来を生き抜く力を身につけることができるよう、今後とも、ご協力をお願いいたします。調査結果の分析と今後の具体的な取組については、後日「学力向上プラン」としてお知らせいたします。

【正答率の低かった算数の問題】	
<p>(3)直径22cmの球の形をしたボールがあります。</p>  <p>このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。</p> 	<p>この立方体の形をした紙の箱の体積が何cm<sup>3</sup>かを求める式を書きましょう。</p> <p>ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。</p> <p style="text-align: right;">本校の正答率 49.7% 全国の正答率 36.5%</p>